

2021 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和 3 年 6 月 11 日（金）

時 間 13：30～14：30

場 所 とちぎメディカルセンターしもつが
A 会議室

出席者 下都賀郡市医師会副会長兼栃木市医師会会長・下都賀歯科医師会会長・栃木地域薬剤師会会長
栃木県県南健康福祉センター所長・栃木市保健福祉部健康増進課課長
栃木市消防本部消防長（代理出席あり）・栃木市消防本部警防課長
しもつが院長・副院長・事務部長・総合連携推進本部副本部長・看護部長・地域医療連携室長

1. 開 会 院長

新任外部委員紹介

2. 挨拶 院長

3. 議 事

（1）2021 年度実績について

1）救急医療の実績

- ） 資料より説明。2,021 年 5 月現在の救急患者受入総数 923 人。内訳は救急車受入総数 445 人中、入院は 187 人、入院率 42.0%です。救急車以外の来院受入数 478 人中、入院 75 人、入院率 15.7%です。当番日と当番日外に分けて集計しています。前年度の同時期と比較すると、救急患者の受入れは 94 名の増加で、60 名はウォークインの患者、34 名が救急車で受入れとなっています。2,020 年度の救急患者受入れはコロナ関連により 2,019 年度と比較すると約 1,200 名の減少がみられましたが、2,021 年度は例年同様の受入れに戻ってきている様です。救急車の受入困難事由の内訳としては、専門医の対応が必要と思われるお断りが多く、けいれん発作や発症後時間経過の短い脳血管疾患疑いのケースなどが多く、CPA の事前選定で三次での対応が望ましいケースが数件ありました。前年度に多かった発熱者対応でのお断りは減少しています。
- ） ウォークインの患者数が増えている傾向ですが、時間帯はいつ頃ですか。急患センターはそれほど患者数の増加はなく、平日の夜間帯などはかなり減っていますが、急患センターでの対応が望ましい患者がしもつがに受診している現状ですか。
- ） 土日、休日の昼間と平日の夜間の受診が多くなっています。それほど重症でない疾患の方の受診も増えています。明確な理由は不明ですが、救急部では症状により急患センターをご案

内しています。

2) 紹介患者に対する医療の実績

-) 資料より説明。2,021年5月現在では、紹介率73.5%、逆紹介率88.5%です。要件はどちらもクリアしています。2,020年度の紹介状持参の総数は初再診含め11,393名で、初診の紹介状持参の患者数は7,614名でした。ご紹介ありがとうございました。
-) 2,021年度に入り、紹介状持参の患者がかなり多くなっている様に感じます。
-) 呼吸器科、消化器科、整形外科の紹介数が多く、昨年は受診を控える方も多くいたのですが、例年と同様の受診者数に戻ってきていると考えられます。

3) 研修会について

-) 資料より説明。今年度は6月10日現在までで3回実施しています。昨日の整形外科の研修会の参加数を合計して院外133名、院内21名、合計154名の参加をいただいております。現在Webでの研修が主流となっていますが、感染状況を考慮しながら、理学療法士、薬剤師、看護師の研修会を検討中で、法人の方針により決定していきたいと思っております。
-) 昨日実施の研修会と同内容の研修会を12月に実施予定ですが、Webと現地開催の両方を予定しています。

4) 共同利用実績について

-) 資料4より説明。
2,021年5月現在の共同利用総件数は467件です。CT 102件、MRI 268件です。昨年度と比較すると放射線検査では2倍のご依頼を受けています。昨年度はコロナの影響によりキャンセルも多くありました。
-) 今年度に入り、CT、MRIについては連日、数多く御依頼頂いて非常に忙しくなっている状況ですが、今後もしもご依頼いただければ幸いです。

(2)その他

-) 栃木県全体のコロナ感染者の1/2から1/3が県南健康福祉センター管内での発生となっています。受入れ先は県南地区以外の県北の病院などへ依頼している状況です。開業医の先生方も含め県南地区で検査実施件数が多くなっている為に出た数字だろうととらえています。人の出入りの多い、4月、5月は多くみられましたが、6月に入り少し減ってきています。全国的に従来のものではなく、殆どが変異株になってきています。ピーク時は1日30~40件ありましたが、10件程度に減り、クラスターも減り終息してきています。当日15時までの検査陽性の報告がその日の発生件数として発表となります。家庭内や集団生活、複数人数での会食など濃厚接触により、急激に増加することも考えられますので今後も組織内での徹底した対応をお願いします。医療職の方々には発熱以外の軽度でも、いつもと変わる症状も見逃さず受診して頂きたいです。ワクチン接種も進んでいるかと思いますが、住民の接種が進めば落ち着くと考えています。

-) 子どもの変異株が増えてきていますが、家庭内感染以外の接触感染も有りうるのでしょうか。
-) 多少は、保育園などの集団生活での感染も考えられますが、殆どが家庭内での感染です。現在は少しずつノロウイルスとRSウイルスが増えてきています。
-) 栃木市のワクチン接種ですが、5月22日から集団接種が開始され、翌週から個別接種が始まりました。6月16日より高齢者の最終接種を予定しています。個別の医療機関と栃木市で予約を取っています。とちのき、しもつがで多くの接種をこなして頂き感謝しています。現在は6割くらいの接種です。全体の約85%の接種希望者を予想しています。
-) 栃木県でのワクチン接種は全国的に低いと報道されていますが、県内の中で0 栃木市の接種率はどのような状況ですか。
-) 高齢者は30%弱の接種率です。接種回数とすれば栃木市は県内でも上位の接種率です。7月の中旬に基礎疾患のある方と介護従事者60歳以上の方の優先接種を予定し、接種券を郵送する準備をしています。接種後の副反応で体調不良者は2名ほどいました。
-) 今回の委員会にて後任への引継ぎとなります。6年間大変お世話になりました。

(3)次回開催について

2021年9月10日(金) 午後13時30～予定

2021 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日	令和 3 年 9 月 10 日（金）
時 間	13：30～14：30
場 所	とちぎメディカルセンターしもつが 2 階講堂

栃木県よりコロナウィルスによる感染防止の為、
8/20、緊急事態宣言発令に伴い 9 月委員会中止し書面会議へ変更

9/13、各委員へ委員会資料を送付し、委員会の代替えとした。

2021 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和3年12月3日（金）

時 間 13:30～14:30

場 所 とちぎメディカルセンターしもつが
2階講堂

出席者 下都賀郡市医師会副会長兼栃木市医師会会長・下都賀歯科医師会会長・栃木地域薬剤師会会長
栃木市保健福祉部健康増進課課長代理出席
栃木市消防本部消防長代理出席・栃木市消防本部警防課長
しもつが院長・副院長・事務部長・総合連携推進本部副本部長・看護部長・地域医療連携室長

1. 開 会 院長

2. 挨拶 院長

3. 議 事

（1）2021 年度実績について

1）救急医療の実績

- ） 資料より説明。2021 年 10 月現在の救急患者受入総数 3,343 人、救急車受入総数 1,644 人の内、入院 673 人、入院率 40.9%。ウォークイン受診受入数 1,699 人中入院 287 人、入院率 16.9%です。昨年度との比較では、若干今年度の方が多くなっています。当番日、当番日外の集計は資料ご参照下さい。（前年度分は比較資料）10 月は救急車での受診数が多く 260 人、全体の 60.3%です。疾患の内訳は特記する目立った症例はありませんが、CPA が 12 件といつもの月より若干多かった様です。8 月は救急外来受診者が 605 名と特に多く、熱中症、めまい、脱水症、尿路感染などが多く、他 covid-19 の救急搬送も 8 件ありました。自宅療養中に呼吸苦出現や発熱で搬送され、検査後に陽性判明の事例もありました。救急受入れ困難件数は、専門医の対応を要する疾患が多く、けいれんや発症後の時間経過が短い脳血管疾患疑いの症例や、時間外で専門医が不在時の依頼が多くみられました。その他の内訳では脊椎損傷疑いや低体温など、三次救急での対応が望ましい症例もありました。又、小山市、下野市などからの搬送依頼もあり、最初は、管轄内の医療機関へ受診相談をして、対応不可の場合に再度連絡をお願いしたケースもありました。8 月の受入困難数は 92 件中その他が 41 件と多く、手術や検査対応中や発熱患者、covid-19 患者対応中により受入困難になった件数が多く報告されています。
- ） 昨年度と比較すると救急搬送が徐々に増えてきていると思います。8 月頃は covid-19 の PCR 検査、抗原定量検査をする患者数が増加し、検査結果が出るまでの（約 1 時間）待機患者も多く入院病棟への入室も待機となり、看護師が対応に迫られ、受入困難の事例が多くありま

した。今後は受入困難件数を減らす努力をしていきたいと思います。

- ） 特例ですが、骨折による入院前ルーティーンの検査により、無症状の患者さんの covid-19 陽性が発覚して、救急部の診療が停止することもありました。
- ） 10 月以降、緊急事態宣言解除により多くの人が活動的になったことで、外傷など増加していますか。covid-19 陽性患者の専用救急車がありますか。
- ） 外傷による受診者数は 11 月頃から増加してきています。
- ） 外傷による救急搬送依頼も徐々に増えてきています。明らかに陽性が疑われる患者さんの搬送時には専用の救急車両の用意があります。

2) 紹介患者に対する医療の実績

- ） 資料より説明。2021 年 10 月現在では、紹介率 69.7%、逆紹介率 83%です。昨年の同時期と比較すると初診紹介患者数は今年度が 4,804 名、昨年度は 4,233 名と増加傾向にあります。10 月より婦人科の常勤医が着任し、外来受診患者数及び紹介患者数も増加しています。支援病院の要件はどちらもクリアしています。ご紹介ありがとうございました。

3) 研修会について

- ） 資料より説明。11 月現在 9 回研修会実施しております。オンラインでの研修会もあり人数の把握ができない研修会もありますが、院外 200 名、院内 48 名、総数 248 名の方に参加を頂いています。中止となっていた出前講座も再開しました。感染対策によるガウンテクニックについては医療職者の参加する出前講座も実施しました。今後も感染状況を考慮しながら、研修会内容を検討して開催したいと思います。
- ） 現在、院内講堂を使用しての地域住民向け市民公開講座の開催は、難しい状況が続いています。
- ） 栃木市の施設など、院外の施設を使用して公開講座を実施する予定です。

4) 共同利用実績について

- ） 資料 4 より説明。

2021 年 10 月現在の共同利用総件数 1,512 件です。CT328 件、MRI859 件、胸腹骨盤部単純撮影 3 件、骨密度 78 件、超音波検査 234 件、ホルター心電図 1 件、上部内視鏡検査は 9 件でした。内視鏡検査については、患者さんが感染を避けるために検査をキャンセルするなど、来院を控える時期もありましたが、7 月頃から再度依頼が入るようになりました。昨年の同時期と比較すると総件数が 1,267 件と、かなりの増加傾向になっています。院内の感染対策により安心して受診頂けるようになりました。
- ） 現在、MRI の予約率は連日 100%に近い予約が入っています。

(2)その他

- ） しもつがの様な地域の中核病院と地域の歯科医師会は周術期の口腔ケア管理の連携を厚労省が立ち上げてから来年度で 9 年目を迎えますが、入院前後の通院や、歯科口腔外科の無い病院では、入院中に訪問歯科診療を行なえるシステムになっています。貴院に於いて、現在までの実績や今後の展望について教えて頂きたい。私の歯科医院は栃木市ですが、群馬県、茨

城県、埼玉県との県境に近い為、現在、友愛記念病院、慶友整形外科病院、館林記念病院などから口腔ケアを依頼されています。全国的にみても全身状態に口腔ケアが関連していますので、術前術後の状態に直結して、入院日数の削減と患者さんの医療費の削減に繋がると思っています。歯科医師会としては周術期の研修会を何度も行っております。外来通院も対応していますので、是非、貴院でもご検討お願いします。

-) 入院前、手術予定の患者さんには看護師がオリエンテーションし、外科医師も受診を促しています。本日の会議で報告できるデータを準備しておりませんので、次回の会議で報告出来るように実績を調べます。
-) 現在、NST(栄養サポートチーム)が栄養管理と口腔ケアを中心に関わっていますが、歯科との連携については今後の課題として取り組ませて頂きます。
-) 非常に貴重なご意見ありがとうございます。現在まで口腔ケアが充分とは言えませんでしたので、整形外科でも術後の感染に大きく関わってきますので、今後は術前プランに口腔ケアチェックを必須項目にしたいと思えます。
-) CT によるメディカルチェックを依頼した場合、一日で、どのくらいの件数実施出来ますか。
-) 専用に 1 台の器械を使用しますので、1 人短時間で出来ますので、かなりの人数が実施出来ると思えます。

(3)次回開催について

2022 年 3 月 4 日（金）午後 13 時 30～予定

2021 年度

とちぎメディカルセンターしもつが地域医療支援病院運営委員会議事録

開催日 令和4年3月4日（金）

時 間 13:30～14:30

場 所 とちぎメディカルセンターしもつが
2階講堂

出席者 下都賀郡市医師会副会長兼栃木市医師会会長・下都賀歯科医師会会長・栃木地域薬剤師会会長
栃木県南健康福祉センター所長
栃木市消防本部消防長（代理出席あり）・栃木市消防本部警防課長
しもつが院長・副院長・事務部長・総合連携推進本部副本部長・看護部長・地域医療連携室長

1. 開 会 院長

2. 挨拶 院長

3. 議 事

（1）2021 年度実績について

1）救急医療の実績

） 資料より説明。2022 年 2 月現在の救急患者受入総数は、ウォークインを含め 5,107 名。昨年同時期と比較し 150 名の減となっています。救急車来院数 2,587 名、その内入院は 1,065 名、入院率は 41.2%です。救急患者受入件数は、今年の 1 月と比較して 95 名の減となっています。

1 月は病床稼働率が今年度で最も高く、満床により救急車の受入困難数が増える結果となりました。その為、予定入院を延期して緊急入院を受入れるなどの対策を行い、現在は満床での断りも減少し改善してきています。月の 3 分の 1 ほどが当番外となりますが、当番外もほぼ同様の受入れとなっています。受入困難件数ですが、12 月、1 月と満床を含む病棟急変・救急車重複といった物理的な理由での受け入困難が多くみられ、詳細は 1 月 71 件の内 41 件が満床による受入困難でした。その他、三次へと医師が判断したケースが 14 件、佐野・小山・壬生消防からの依頼を先ずは管内へ相談をとお願ひしたケースが 9 件ありました。三次へと判断した理由としては、低体温、エネルギー外傷が考えられる交通外傷、年齢の若い CPA などがありました。

） 救急搬送困難事案について、消防庁調べの定義は、現場から受入依頼回数が 4 回以上行い、且つ現場滞在時間が 30 分以上かかった事案の件数を計上して報告することとされ、栃木消防署管内では、令和 4 年 1 月 50 件、2 月 54 件ありました。平均の比較では令和 3 年 19.9 件、令和 2 年 19.6 件、令和元年 11.1 件です。この数字からみても搬送に苦慮していることがわ

かって頂けると思います。現場滞在時間の平均は今年 1 月 27 分、2 月 29 分、令和 3 年平均 24 分、令和 2 年 20 分、令和元年 19 分となっています。令和 3 年夏頃から救急搬送困難数が増えはじめ救急隊が難渋している現状です。栃木消防本部としては、しもつが搬送件数は過去 3 年間の調べでは約 50%受入れて頂いている状況のところ恐縮ですが、今後も搬送受入れをお願い致します。

）救急車の適正利用についての実状を教えてください。

）適正利用してもらえる様に努力しています。119 番通報があった時点で、必要ではないと判断した場合には、通信指令課に於いて近医受診の指導や家族車での対応を促し、トリアージを行なった上で出場しています。

2) 紹介患者に対する医療の実績（紹介率・逆紹介率）

）資料より説明。2022 年 1 月現在で、初診紹介患者数 6,979 名、紹介率 70.3%、逆紹介率 83.8%でした。昨年 1 月同時期の累計は 6,137 名でしたので、昨年より増加傾向にあります。多くのご紹介ありがとうございました。

3) 研修会について

）資料より説明。今年度は予定も含め 13 回となります。院外参加者 231 名（Web 配信により院外の参加者が把握できない研修あり）、院内参加者 67 名でした。来年度は医師、看護師の他、多職種に於いての研修を感染状況に考慮しながら、内容についても検討したいと思います。

4) 共同利用実績について

）資料 4 より説明。2021 年度 1 月までの共同利用実績は、CT/485 件、MR/1,194 件、胸腹部骨盤単純撮影/3 件、骨密度/107 件、超音波/355 件、ホルター心電図/2 件、脳波/1 件、内視鏡/13 件でした。昨年度は患者さんの受診や検査を控える方が多く見られました。

）稼働している CT・MR の台数を教えてください。

）CT は 3 台ですが、その内 1 台は COVID 患者専用を使用しております。MR は 2 台稼働しています。

(2) その他

）前回の会議でご指摘がありました歯科連携について報告させていただきます。周術期や化学療法前の歯科受診について、院内で統一した体制ができていないのが現状です。主に外科や消化器科の医師が対応することになり、複数の医師に確認したところ、かかりつけの歯科に紹介していることが多いとのことで、件数の把握ができていませんでした。外科医師によれば診断から入院までの期間が早い時は 2 週間程度で、その短期間に歯科受診を計画しにくいことも要因としてあるようです。自治医大、獨協医大からの医師が多く、大学病院内に歯科口腔外科があり指示することなくスムーズに術前、化学療法前の口腔ケアが行なっていた為、当院では抜けてしまっているとの声もありました。今後の課題として、

外来看護師、入退院支援室、がん連携チームを含め連携が進められるような体制づくりを進めていきたいと思います。

-) 病院によってかなり差があります。訪問歯科診療と周術期口腔ケアは全く別物で、厚労省が推奨している周術期口腔ケア管理は手術だけでなく、緩和ケアや入院中の他、通院での化学療法にも対応します。患者側ではなく主治医が指示を出すところから始まるので医師間で周知統一できる様な研修会を開いて頂けると良いと思います。
-) 在宅医療介護の連携推進会議に出席している会員から問題定義があり、地域の薬局で処方を受けていた患者さんが、TMC 退院後に薬の内容が変わり手配するのに非常に苦慮しているとの話があり、今後できれば薬剤部と地域の薬局とのコミュニケーションを図り、情報共有できると良いと思います。
-) 患者さんが退院後、紹介状を早めにかかりつけ医に持っていくような説明をして頂けると良いのかなと思います。
-) 退院前に、インスリン開始や、大きく処方内容が変わる場合には連携室よりかかりつけ医に連絡を入れることはあります。退院時に病棟看護師から早めにかかりつけ医に行くよう患者さんに案内することは可能かと思います。
-) COVID の第 6 波が今年の 1 月から一気にきましたが、栃木県での新規患者数は減少しています。2 月 14 日の週がピークで 1 日約 500 件の患者数でしたが、先週 2 月 28 日の週から減り、1 日 150～200 件ほどになってきています。3 月中には 10～20 件程度のペースになればと考えています。高齢者と未就学の小児の発生届が多く、ワクチン接種との関係も考えられます。第 5 波までは COVID による重篤な状態での死亡報告が多くありましたが、現在は基本的には 80 歳以上の心不全など基礎疾患のある方の報告が殆どです。現在罹患している方の症状

は軽度で咳症状が長く続く方が多いです。管内の医療機関や消防署、薬剤など多くの方々にご協力頂いて非常に助かっています。県内全域に患者さんを受入れて頂いています。7～10 日で感染力は低下すると言われています。既感染者の方は 1 ヶ月経過しても検査をすると陽性反応が出る率が高いので、無症状の場合は様子を見る様をお願いしたいと考えます。当初、問題とされていた外国人のクラスターは現在殆ど無い状況です。今後ともご協力をよろしくお願いします。

-) 既感染者が渡航する場合の検査方法や費用について困っています。
-) 栃木市内でのワクチン接種状況をご報告致します。3 回目の接種は 2 月末日の時点で 35,000 人、対象者の 27.6%の接種率です。高齢者の 55%が接種しています。引き続き宜しくお願いします。小児の接種については、市内 22 箇所の医療機関にご協力頂き、3 月中旬から開始予定です。

(3)次回開催について

2022 年 6 月 3 日（金）午後 13 時 30～予定